

# パノラマ印画(余白あり)機能説明

2016 年 09 月 09 日  
大日本印刷株式会社



本書の著作権は権利者にあります。一部または全部の無断転載・無断複製を禁止します。



本書の内容は予告なく変更することがあります。



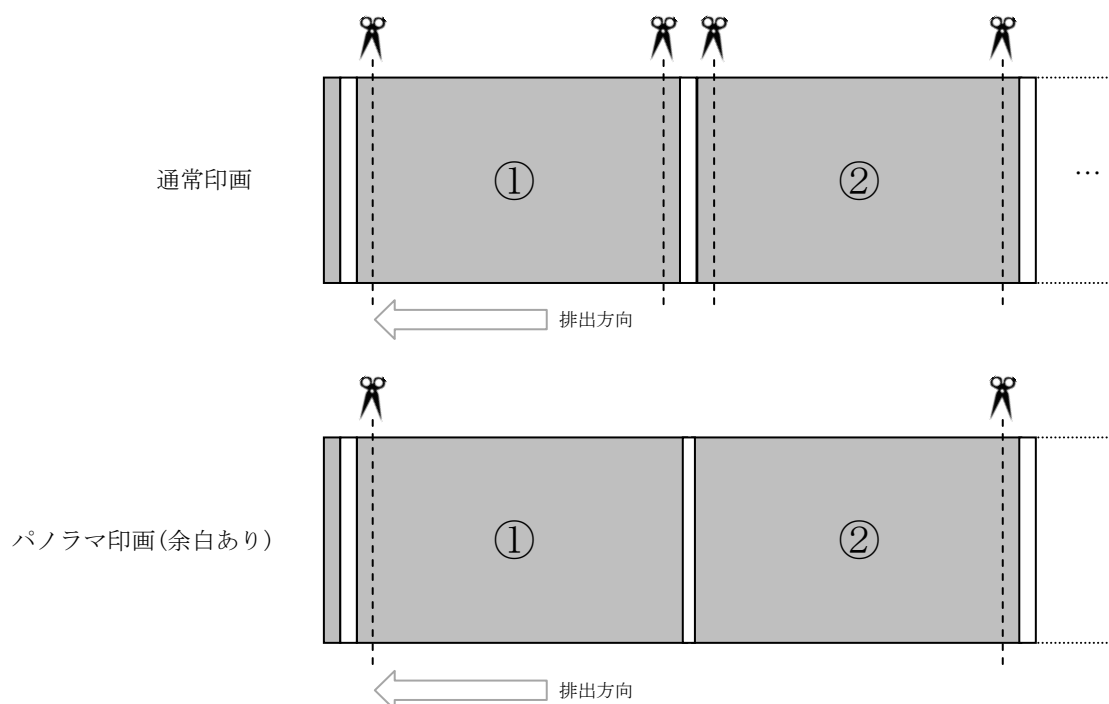
本サンプルプログラムの内容を、貴社のシステムでお使いになる場合、動作の保証はいたしかねますのでご了承ください。また、本サンプルプログラムの使用に関して、直接的または間接的に生じる如何なる損害に対し、当社は一切の責任を負いません。

## パノラマ印画(余白あり)概要

パノラマ印画(余白あり)機能(以降、パノラマ印画と記述)は 8x10、8x12、A4 サイズを 2 枚または 3 枚を繋げて印画する機能です。

通常の印画では 1 枚印画毎に用紙をカットしますが、パノラマ印画では最後の印画までカットを行わず、用紙がなくなった状態で連続して印画を行い、最後の印画完了時に用紙をカットします。

### 〈印画物イメージ〉



## (1) パノラマ印画処理概要

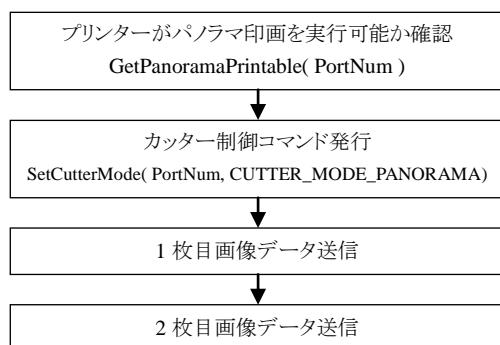
- ・ホストからのコマンド指示により、パノラマ印画を行います。
- ・プリンターは、パノラマ印画指示コマンドを受信すると、印画終了後に印画物をカットせず、次に受信したデータを続けて印画します。2 枚目の画像データ受信前に再度パノラマ印画指示コマンドを受信すると、2 枚目印画後もカットせずに次に受信したデータを続けて印画します。

## (2) パノラマ印画処理フロー

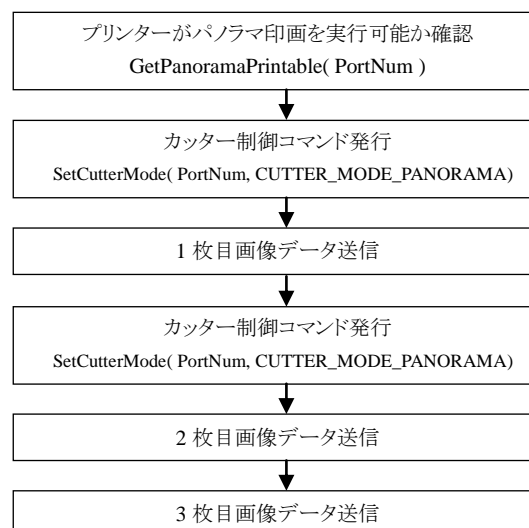
(例)8x12 サイズでのパノラマ印画処理

- ① パノラマ印画を行う場合、パノラマ印画開始可能チェック API `GetPanoramaPrintable()` でプリンターがパノラマ印画を実行可能か確認することができます。(省略可能。ヘッド温度が高い場合は、パノラマ印画可能状態になるのを待たずに、パノラマ印画データを送信してください。)
- ② カッター制御 API `SetCutterMode()` でパノラマ印画動作「`CUTTER_MODE_PANORAMA`」を指定してください。
- ③ カッター制御コマンド送信後に 8 x 12 サイズの画像データを送信してください。

### ■8x24 印画の場合

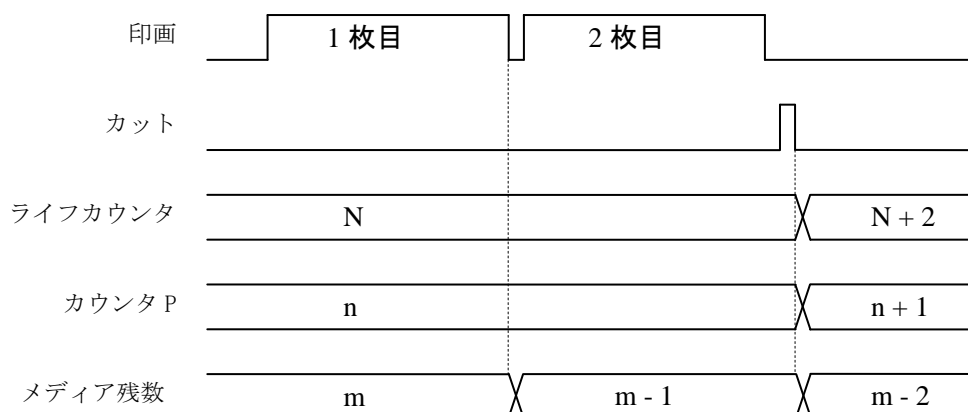


### ■8 x 36 印画の場合



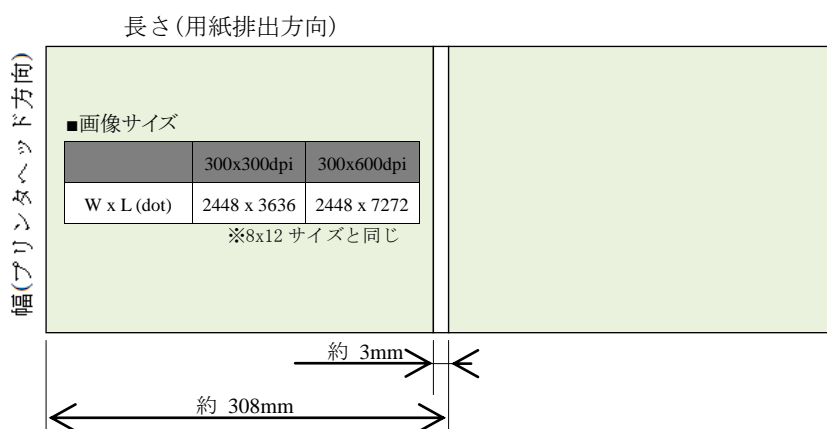
### (3) ライフカウンタの動作

- ・パノラマ印画の場合、印画が終了して印画物をカットした時点でカウントアップします。  
(8x20、8x24、A4x2 の場合：+2、 8x30、8x36、A4x3 の場合：+3)
- ・カウンタ P は、印画が終了して印画物をカットした時点で+1 カウントアップします。



### (4) 画像サイズ及び印画ピッチ

(例) 8x12 サイズでのパノラマ印画の場合

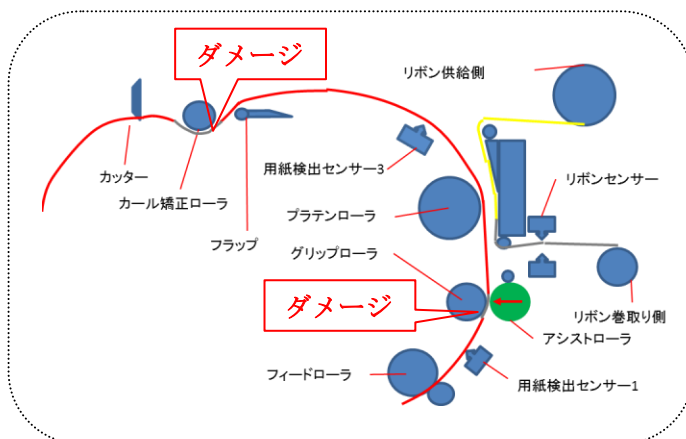


- ・通常の 1 枚印画と同じ出力結果とするために、1 枚目と 2 枚目、2 枚目と 3 枚目の間は、画像の端を 1.5mm 分印画しません。(通常の 1 枚印画では、カット屑の中に残る部分になります。)

## (5) パノラマ印画時のプリンター動作

## (5)-1 パノラマ印画中のデータ送信、オーバーヒート

パノラマ印画を行う場合、2枚目または3枚目の印画開始時にデータ転送が完了していない場合や、オーバーヒートが発生した場合に、用紙を保持した状態で停止するため、デカール部分と用紙グリップ部分で印画物にダメージが発生する可能性があります。(跡が付きます。)

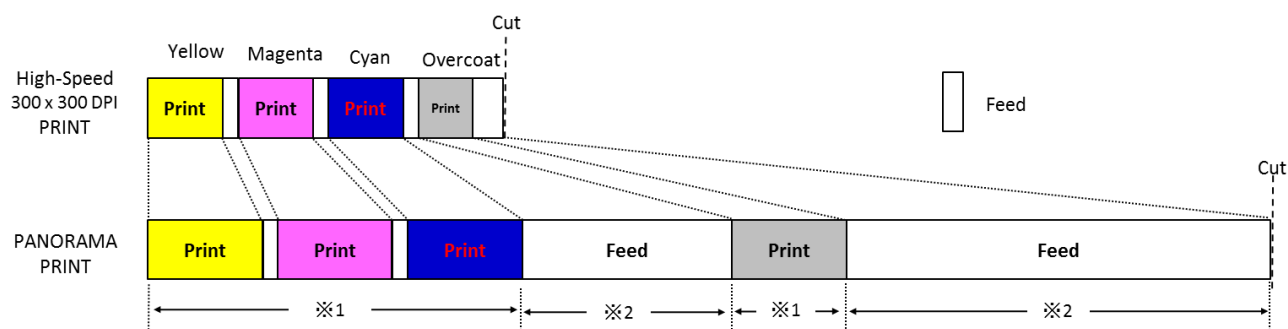


## (5)-2 オーバーヒート回避について

## a) 冷却時間の確保

印画中の温度上昇を抑えるために、印画速度を遅くし、シアン印画後からオーバーコート印画開始までのフィードと、オーバーコート印画後からイエロー印画開始までのフィード速度を遅くしています。

モード	印画速度 ※1		フィード速度 ※2	
	通常環境 (外気温 約 25℃ 想定)	高温環境 (外気温 約 30℃ 想定)	通常環境 (外気温 約 25℃ 想定)	高温環境 (外気温 約 30℃ 想定)
High-speed (300x300dpi)	High-speed	High-quality	1.2ips or 14ips	0.6ips
High-quality (300x600dpi)	High-quality			



## b) スタート温度

パノラマ印画途中でオーバーヒートにならないようにするために、1枚目の印画開始時に、ヘッド温度が下表の温度以下になるのを待って印画を開始します。

ヘッド温度	
通常環境 (外気温 約 25℃想定)	高温環境 (外気温 約 30℃想定)
51.2℃	48.1℃

通常環境（外気温 約 25℃）で、グレー（50%）画像であれば、オーバーヒートにはならず、連続印画することが出来ますが、高温環境（外気温 約 30℃）では、パノラマ印画の1枚目のクーリング時間が長くなることがあります。

データ送信前に、プリンターがパノラマ印画を開始可能か、GetPanoramaPrintable()で確認できます。

## ■ 印画時間

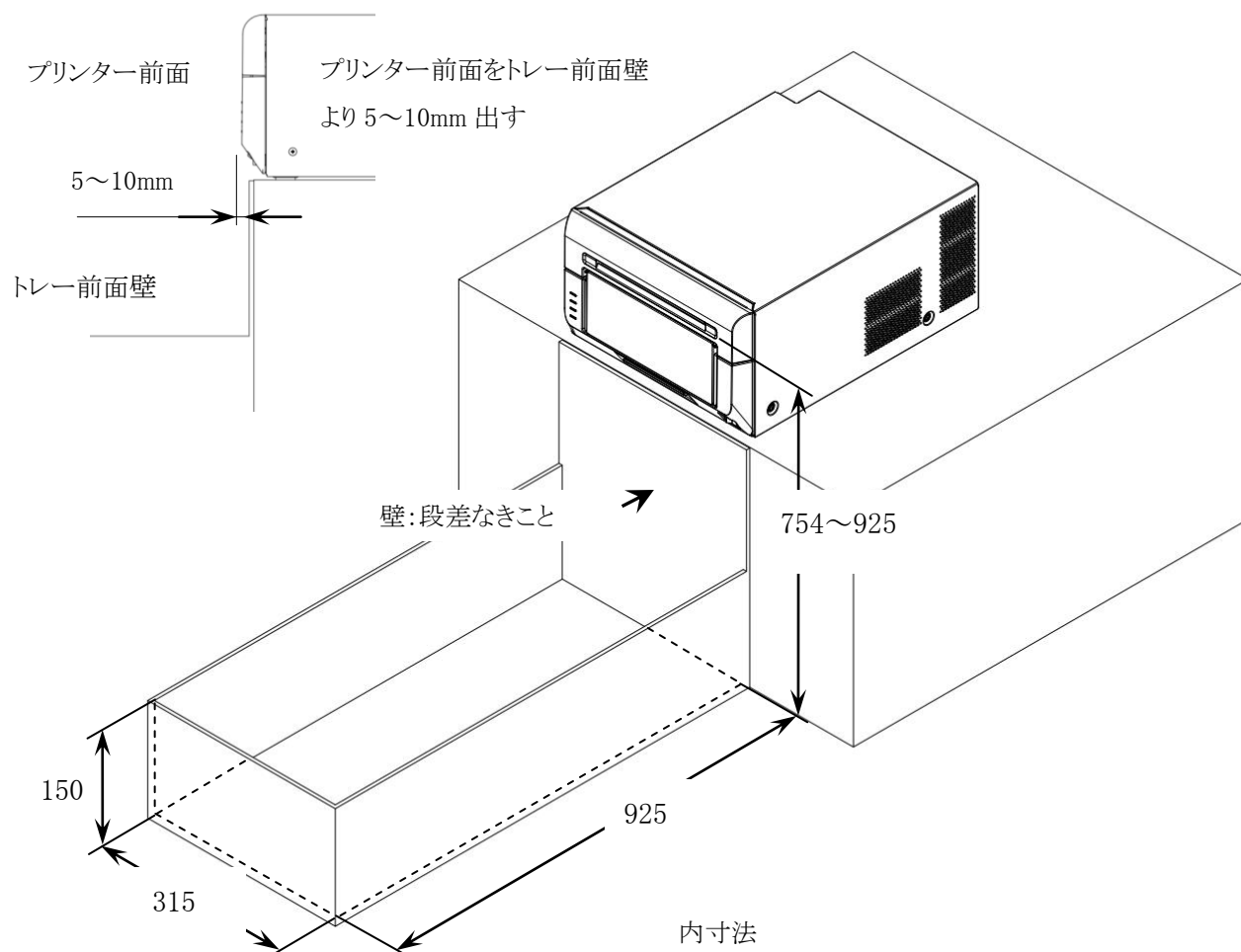
パノラマ印画サイズ[PPメディア]					
8x20in	8x30in	8x24in	8x36in	A4x2	A4x3
約 61 秒	約 90 秒	約 70 秒	約 105 秒	約 69 秒	約 103 秒

※測定環境：グレー（50%）画像，25℃±5℃ 50%±10%RH

(6) パノラマ印画時の設置場所及び用紙トレイについて

パノラマ印刷を行う場合は下図の様な設置場所と用紙トレイを推奨します。

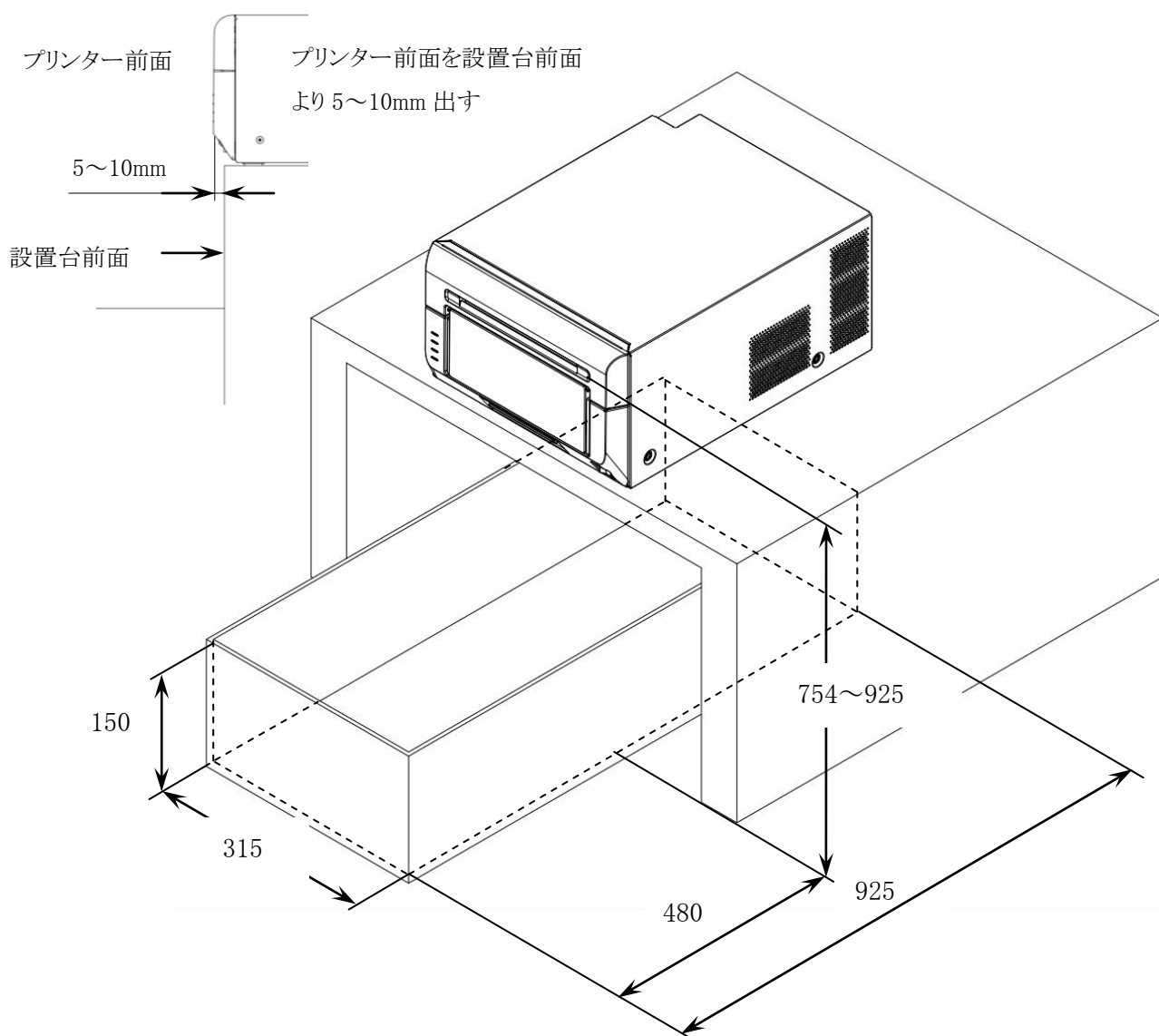
### ■設置台前面に壁がある場合



＜注意事項＞

- ・プリンターの用紙出口高さは、トレイ底面から 754～925mm の場所に設置してください。  
用紙出口からの高さが 754mm 以下の場合、用紙先端が当たることにより、レジズレ、印画ムラが発生し、925mm 以上の場合、用紙が落下した時に用紙端面の折れ、キズが発生します。
- ・用紙トレイには壁を設けてください。用紙の使い終わりにカールした用紙がプリンターの下側にもぐりこみます。また、壁には段差がないようにして、壁から 5～10mm 程度プリンターを出すようにしてください。
- ・パノラマ印刷を行う場合、印刷中にプリンター外部へ用紙が出てきます。手で触れると用紙ジャム、レジズレ、印画ムラ等発生することがありますので、絶対に触れないようにしてください。（エアコンの風が強くあたった場合も同様）

■設置台前面に空間がある場合



<注意事項>

- ・プリンターの用紙出口高さは、トレイ底面から 754~925mm の場所に設置してください。  
用紙出口からの高さが 754mm 以下の場合、用紙先端が当たることにより、レジズレ、印画ムラが発生し、925mm 以上の場合、用紙が落下した時に用紙端面の折れ、キズが発生します。
- ・設置台前面から、5~10mm 程度プリンターを出すようにしてください。
- ・用紙トレイの前面は 480mm 設置台より出し、445mm を机の下に入れてください。
- ・用紙の使い終わりにカールした用紙がプリンターの下側にもぐりこみます。
- ・パノラマ印刷を行う場合、印刷中にプリンター外部へ用紙が出てきます。手で触れると用紙ジャム、レジズレ、印画ムラ等発生することがありますので、絶対に触れないようにしてください。(エアコンの風が強くあたった場合も同様)

## (7) パノラマ印画注意事項

- ・ヘッド温度が高い場合は、プリンターはヘッド温度が下がるのを待って印画を開始します。
- ・パノラマ印画を行うときは、メディアの残数をプリンターから取得して、パノラマ印画を行う分のメディアが残っていることを確認してから実行してください。
- ・パノラマ印画の途中でリボンエンドとなった場合には、プリンターは印画物をカットして停止します。プリンターのステータスはリボンエンドになります。
- ・パノラマ印画の途中で次の印画データが送信されてこない場合には、プリンターは次のデータが送信されてくるまで待機します。その場合、デカール部での跡と、用紙をグリップしている跡が印画物に付く可能性がありますので、ご注意ください。
- ・パノラマ印画の途中で、次の印画データが送信されてこない状態が約 60 秒続いた場合には、印画物をカットして停止し、プリンターのステータスはアイドルになります。
- ・パノラマ印画中は、印刷リトライ機能は無効になります。
- ・パノラマ印画中に、フルカッターセットアップコマンド、またはカット屑なしコマンド、2 インチカットコマンドを受信した場合には、パノラマ印画中の印画物をカットして、通常動作に戻ります。
- ・パノラマ印画中に 8x10、8x12、A4 サイズ以外のデータを受信した場合には、パノラマ印画中の印画物をカットして、通常動作に戻ります。
- ・パノラマ印画の最中にプリンターの出口から出ている用紙には触れないでください。
- ・最大で約 36 インチの長さで排出しますので、プリンターの設置場所に注意してください。

## サンプルプログラム

VB.NET のパノラマ印画(余白あり)サンプルアプリケーションです。本サンプルプログラムは、選択された画像ファイル及び設定されたパノラマ画像枚数でパノラマ印画を行います。

本サンプルプログラムをご使用いただく場合、ご使用の環境に合わせて以下の変更を行ってください。

### ■プリンター名

Form1\_Load() の「PrinterName」を変更してください。  
初期設定は、「PrinterName = “DP-DS820”」となっていますので、インストールしているプリンター名を設定してください。プリンター名はパソコンの「プリンターと FAX」を参照してください。

### ■32/64bit OS の選択

OS が 64bit の場合、DS820Stat.vb の先頭を「#Const x64 = True」としてください。  
初期設定は 32bit 用で「#Const x64 = False」となっています。

